H. A. 英語英文学科・３年次

Ⅰ. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校時代に短期のカナダ留学を経験し、大学に入学したらできれば長期で留学したいなと思っていた。私の場合留学を決断するまでに、たくさんの人との出会いが留学の決断に繋がったように思う。1 年生の時に受講したイギリスの文化の授業で、イギリスに魅力を感じた。そして、国際課に留学制度の話を聞きに行った際に出会った職員さんの提案で、学内で行われている留学イベントに参加することになった。その後イベントに参加し、IELTS を教えに来られていた塚本亮先生のイギリス留学経験などを聞いて、実際に行ってみたいと思ったので行動に移した。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

IELTS を受験した。Overall, 5.5 から 6.0 に上げるのに非常に苦労した。
問題集を何度も解き、苦手とする部分を分析して何度もやった。また、学内で英語を学ぶ機会として国際課が主催する English Chat Room, English Speaking & Writing Support をフル活用した。

③ 留学決定から出発までの準備期間

協定留学が決定してからも chat room などを利用し続けて、native と話す機会を維持し続けた。また、留学前の春休みに時間があったので、1 ヶ月ロンドン語学留学をした。
ビザについては、ミスなく申請する必要があったので、大学に紹介していただいたビザ代行取得業者を通じて申請を行った。

④ 現地到着後

Leeds Bradford 空港からは taxi で寮まで移動した。Heathrow から Leeds Bradford までは 1 時間以内で行ける。飛行機の乗り換え時間がスムーズに行くなら、初めはこの手段で行くのを勧める。一方でロンドンから電車で 2 時間程度なので、Heathrow airport, tube, liner, taxi という組み合わせで来ている学生も多かった。だが、tube や liner の乗り換えなどで荷物運びが大変だったという意見が多かった。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

協定留学プログラム外のため必須ではなかったが、自身で希望し参加した。大学の施設を使って行われた。正規授業が始まるまでに、地理感覚が養えて、友達なども作ることができたので、正規授業に入ってからいいスタートをきれたと思う。

◆　授業内容、課題、試験

授業は少人数 15 人ぐらいのものと、100 人以上が集まる講義形式のものがあった。付属の語学学校の先生が行う授業もあれば、普段講義をしている先生の授業もあった。

試験は 4 技能あった。私は optional でこのコースを付けたが、このコースに合格しないと正規過程に進めない条件で来ている学生も多かったので、みんな真剣に取り組んでいた。

⑥　正規科目履修期間

◆　大学の施設・環境について

必要なものは全て大学内に揃っていた。建物自体もとてもきれいだった。学生の町なので、京都今出川の雰囲気に近いと感じる。また、図書館もいくつかあり 24 時まで open していたので、勉強に集中しやすい環境であった。留学生に対するサポートが非常に多く、授業外でも成長できる機会が多い。大学内にバーやクラブがあるのは驚いた。

◆　履修科目

Semester1

・EDUC1053 English Language description for TESOL

英語を分析してどう教えるか、この英語テキストを intermediate class でどう使うかなどの discussion、ゼミ形式で進む授業だった。Group study 課題が毎週あり大変だったが、先生との距離も非常に近く楽しい授業であった。

・EDUC1040 Second Language Acquisition

どのように第二言語を習得するかという講義であった。同女で Applied Linguistics のゼミに入っていたので、理解しやすかった。大講義とゼミがあった。

・PECI1706 Managing Festival and Events

イベントを計画する際、どんなことに注意をしなければいけないか、discussion をメインに進めていく講義であった。先生が週替わりで、どの先生も面白く、学生を引きつける授業をしていた。

Semester2

・EDUC1051 Language, Learners and Society

Historical Language teaching や言語習得に関する why について考える授業。Discussion にも慣れ、自分の意見をたくさん先生に言うことができ、それに対し先生もたくさん考えを返してくれ非常に楽しい授業であった。

・EDUC2104 Psychological Approaches to Understanding and Supporting Children's Learning

言語教育というより、将来イギリスの小学校で働くための知識が多かったように思う。2 年

生の授業かつ心理学の内容も多く大変だったが、授業外で先生が非常に助けてくださった。

・FLTU1302 Beginner French

日本でフランス語を勉強したことがなかったが、フラットメイトの 1 人がフランス人で、さらにイギリス人とイタリア人もフランス語を喋れたので、身近に先生がいると思って履修することになった。

◆　授業、レポート、定期試験

Semester1 は 3000words essays, 1800words essay, 1200words essay, presentation の課題だった。

Semester2 は pandemic のせいでいくつか課題がキャンセルになったが、フランス語の筆記試験、他科目の essays があった。

⑦　クラブ、課外活動、ボランティア活動

イギリス人の友人と一緒に Ale beer society に入った。Tasting をしたり、みんなで pub に集まったりして話をした。

Language Exchange をよくした。英語、フランス語、ドイツ語を教えてもらう代わりに、日本語を教えたり、一緒に休みの日にカフェに行ったり、ランチをしたりした。

⑧　現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

大学から徒歩 15 分の Sentinel Towers という大学の寮に住んでいた。食事は自炊だった。寮のイベントに参加することで現地の友達を作ることができた。

近くに Morrisons や Tesco など安いスーパーはあったが、同じ寮の違う階に住んでいるイギリス人の友人が車を持っていたので、さらに安い Aldi というスーパーに 2 人でよく行った。

⑨　長期休暇の過ごし方

Semester1 が始まる前に 1 人で電車を乗り継いでベルギーに行った。人生で初めての一人旅だった。一人旅だったので、迷う度にたくさんの人に助けてもらい、現地の人とも交流する機会を得ることができた。この一人旅はかなりの自信を与えてくれた。

クリスマス休暇に Leeds の友人とオーストリアに行った。オペラを見たり、ザッハトルテを食べたりした。宿泊していたホテルの上の Bar で現地の人たちとたくさん話すことができた。

家族がクリスマス休暇中に来たので Munich で待ち合わせをしてドイツ、イタリアに行った。ロンドン、Leeds にも来たので案内をした。

Easter 休暇に Morocco, Spain, Finland の旅を計画していたが、corona が理由でキャンセルになった。

⑩　留学期間中の就職活動の取り組み

なし

Ⅱ．留学の感想

①　留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

毎週金曜日や、週末に友達と夜に出掛けたり、イベントに参加したことがとても楽しかった。特に、いくつかの寮の友達が私たちのフラットのキッチンに集まって夜中にパンケーキを焼いたりしたのは、日本ではしないことなので楽しかった思い出の 1 つとして特に覚えている。

②　留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

授業に付いて行くのは予想通り辛かったが、友達と一度大喧嘩をしたのはとても辛かった。最終的には話し合いをして仲直りできた。

③　文化・習慣の違いなどで驚いたこと

朝一からジムに通っている学生が多かったこと。みんな自分の毎日の生活パターンをしっかり持っていた。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

①　留学先大学の良かった点、悪かった点

留学生へのサポートがしっかりしていた。悪い点は特に思い当たりません。

②　日本から持っていって、特に役に立ったもの

パソコンは持っていくべきだと思う。授業中や予習復習にも役立った。あとは普段使用している薬があると助かる。Leeds では基本的に日本食でも日用品でも必要なものはすぐに手に入るので、そんなに心配する必要はないと思う。

③　語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学開始直後は、友達と集まって遊んでも何を言っているかなかなか理解できず苦しんだが、交流を続けることで非常に力が付いた。イギリス人の友達 2 人と遊びに行っても、会話に付いて行けるようになったので非常に自信が付いた。試験などでは IELTS Overall が上がった。特に speaking 、listening 力が付いたように思う。

④　これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

なんで留学をしたいか、何を学びたいかを明確にすればするほど、より有意義な時間を過ごせると思う。また留学をしたいと思ったら、すぐに行動に移すのがいいと思う。

Ⅳ．将来の目標

①　今後の進路、将来の目標・夢

イギリスの大学院に進学する予定

Ⅴ．写真

Halloween の時に、同じ寮の学生で集まって出掛けた時の写真です。

Bonfire night の写真です。フラットメイト、寮の友達に加え、他の寮の仲の良い学生が集まって参加しました。

Beatles で有名な Liverpool に寮の友達と一緒に学校からのツアーに参加してバスで行きました。Liverpool の他に Manchester にもフラットで行きました。

フラットメイトと最後にとった写真です。私たちはいつも family と呼んでいました。よく車で出かけてご飯を食べに行ったり、ご飯を一緒に作ったり、ジムに行ったり、勉強したりしました。

予定よりも早くお別れをすることになってしまいましたが、フラットメイトと他の寮の友達と集まって最後にご飯に行きました。今でも頻繁に連絡を取り合っています。